

あき た ぶん か
あき 文化 59号



令和6年度号

一般社団法人 秋田市文化団体連盟

目 次

発刊のことば	会長 宮 下 正 弘	1
あいさつ	秋田市長 穂 積 志	2
文化芸術の振興を考える議員の会との懇談会より		
講演「秋田市の文化のこれ迄とこれから」	会長 宮 下 正 弘	3～8
第67回秋田市芸術祭		9～23
第45回市民文化のつどい・第21回郷土秋田を考える文化講演会		13
団体紹介（令和6年度加入団体）		24
第62回秋田市文化団体連盟章		25～27
第41回秋田市文化選奨		28
第74回秋田市文化章・文化功績章		28
第56回秋田県芸術文化章		29
令和6年秋田県文化功労者		29
第50回秋田県芸術選奨		30
令和6年度地域文化功労者（文化庁）		30
第21回けやき賞		30
あとがき		31

題 字 (故) 茂 林 孝 華

表紙絵 会長 宮 下 正 弘

シンボルマークデザイン

秋田県デザイン協会 顧問 青 木 隆 吉

秋田文化 (59号) 令和7年3月発行

編集発行 一般社団法人 秋田市文化団体連盟
会長 宮 下 正 弘
〒010-0875 秋田市千秋明德町2番52号
あきた芸術劇場内
電話 018-853-5596 FAX 018-853-5597

印刷 株式会社 松原印刷社
〒010-0951 秋田市山王七丁目5-29
電話 018-862-8760 FAX 018-863-0005

発刊のことば



会長 宮下正弘

齋田文化59号（令和6年度号）の発刊の言葉を申し上げます。

令和6（2024）年度はコロナ禍も一段落し、季節インフルエンザの流行もあったものの、われわれの芸術文化活動も以前のように活発に行われたことを喜びたいと思います。

まず中心的活動の秋田市芸術祭も第67回を数え、加盟各分野が参加してあきた芸術劇場（ミルハス）を中心に7月7日の大衆芸能部門「四季の彩」を皮切りに、11月10日の「邦楽合同公演」まで12事業を実施しております。日頃の成果と活動できる喜びを多くの市民の皆さんに伝えることができたのではないかと思います。

第62回秋田市文化団体連盟章の表彰式と祝賀会が12月3日に秋田キャッスルホテルで華々しく行われました。菅原浩洋 様（川柳）、橋野宗茂 様（茶道）、大塚祥華 様（書道）、加藤豊典 様（華道）、塚あきら 様（歌謡曲）、間宮繁夫 様（謡曲）、菅原ひろ賀 様（箏曲）、古川芳孝 様（茶道）の8名の方が受章されました。誠にありがとうございます。

3年目を迎えた「芸術文化体験プログラム事業」（通称トライ）は8月17,18日の2日間ミルハスで行われ、おこと、謡曲、日本舞踊、港ばやしと茶道2教室、いけばな2教室の6部門8教室を開催しました。日本舞踊で「あんたがたどこさ」を踊った可愛い小学生の姿が忘れられません。いずれ成長して秋田市の文化を担ってくれることを願っています。

国民文化祭のあとを受けて始まった「秋田市文化の祭典」も10回目を迎えて、ミルハス、文化創造館、にぎわい交流館AUを舞台に華やかに開催されました。

さて、本年度初の試みとして11月19日に秋田市議会議員による「文化芸術の振興を考える議員の会」と当連盟との懇談会が持たれました。大変有意義な会で、今後の発展が期待されるところです。この会で、私は「秋田市の文化のこれ迄とこれから」と題して45分の講演を行い、私自身大変勉強になりました。

加盟団体は令和7年3月31日現在58団体です。新たな加盟団体の動きもあり、活発な活動を通じてさらなる新規加入に結び付けたいものと考えています。今後ともよろしくお願いいたします。

あいさつ



秋田市長 穂積 志

このたび、秋田市文化団体連盟機関誌「齶田文化」59号が発行されますことを心よりお祝い申し上げます。

秋田市文化団体連盟は、1957（昭和32）年の発足以来、市内文化団体の連携を図り、芸術文化活動を支える要としての役割を果たしてこられました。

これまで、長い歴史を持つ「秋田市芸術祭」や、令和4年度から実施している小中学生を対象とした「芸術文化体験プログラム」等の開催を通じて、たくさんの市民の方に芸術文化を身近に感じ、親しんでもらう機会と発表の場の提供、そして、次代の担い手育成に注力されております。

また、芸術文化活動の推進と文化団体連盟の発展に貢献された方へ「秋田市文化団体連盟章」を贈り、顕彰するなど、本市文化の振興に多大なるご貢献をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。

この、機関誌「齶田文化」は、そうした秋田市文化団体連盟が築いてこられた活動や新たな文化活動への提言などを記してきた貴重な資料としても活用されており、これまで編集に携わられた多くの関係者の皆様に深甚なる敬意を表します。

さて、本市では、歴史のなかで育まれてきた郷土秋田の地域の特色を生かした「芸術文化の香り高いまちづくり」を実現するため、これまで、あきた芸術劇場ミルハス、千秋美術館や旧松倉家住宅等の整備を行ってきたところであり、今秋には、施設規模や展示機能などを拡充した佐竹史料館がリニューアルオープンする予定となっております。

芸術文化は、人々の心を潤し生活を豊かにするものであり、本市としましても、市民一人ひとりが創造力を育み、幅広く活動できるよう、更なる環境の充実に努めてまいりますので、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴連盟のますますのご発展と会員の皆様のご活躍を祈念し、あいさつといたします。

文化芸術の振興を考える議員の会との懇談会より

「秋田市の文化のこれ迄とこれから」

一般社団法人秋田市文化団体連盟会長 宮下正弘

令和6年11月19日に秋田市民俗芸能伝承館に於いて、「秋田市の文化芸術の振興を考える議員の会」と秋田市文化団体連盟の意見交換会が開かれた。冒頭に「秋田市の文化のこれ迄とこれから」と題して、基調講演的なものを行った。その時のスライドを交ぜながらまとめてみた。

秋田市の文化の特徴

ここからは、私が委員長となって4年間にわたって検討し、先日文化庁の承認を頂いた、「秋田市文化財保存活用地域計画」を中心に述べたい。

秋田市の重層的な歴史文化

○秋田市は東に太平山連峰を擁する出羽山地、西には日本海に臨む砂丘海岸が広がる自然豊かな都市で、雄物川の下流域に形成された秋田平野が主要部分を占める。

○人々の生活の痕跡は3万5千年前にさかのぼり、その後、縄文・弥生時代には、自然の恵みを享受しながら、台地や微高地などで連綿と生活が営まれてきた。

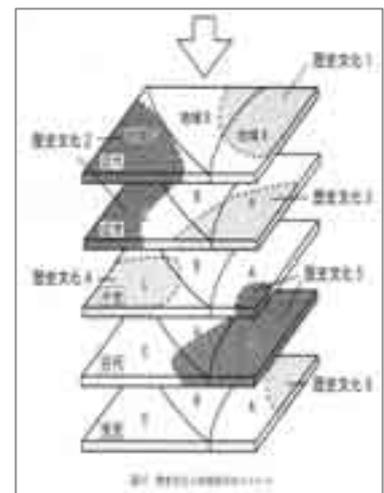
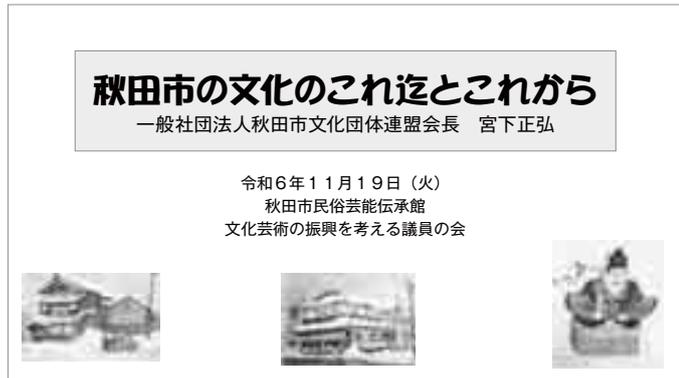
○さらに、古代の秋田城、中世の湊城、近世の久保田城と、地域の拠点がその位置を替えながら設けられ続けてきたという時代と市域が重層的に織りなして歴史が形成されてきた。

○これらの拠点を核として、周辺に集落や町が形成されて、現在に繋がっている。

秋田市の歴史文化の特性

秋田市の歴史的背景を、時間軸を主にしながら地域の視点も加えて、その特性を4つの大分類と15の項目にしたのが図14である。即ち、

- I 境界域の歴史文化（南北文化の接点）
 - II 拠点の歴史文化（移り行く文化・発信する拠点）
 - III 交流の歴史文化（海・川・陸の道）
 - IV 多様な地域の歴史文化（山・町・村に重なる時層）
- それぞれの大分類の特性を項目として挙げている。



秋田の歴史文化の特異性(Ⅰ・Ⅱ)

Ⅰ 境界域の歴史文化・南北文化の接点

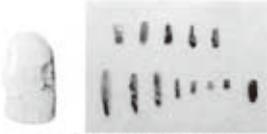
秋田市域は、さまざまな時代において南と北の文化が接し交わる、文化の境界域としての性格を有していました。遺跡から出土した遺物の種類から人や文化が行き交った様子が認められることに加え、文献でも、日本の北方に住む人々がゾワ(出羽)の国の大なる町アキタ(秋田)に来て活発に交易を行っていることと記されるように(宣教師ヘイス・フロイスによる水禄8年(1565)の書翰)、異なる文化が接し交流する「南北文化の接点」という歴史特性がうかがえます。

Ⅰ-①旧石器時代の足跡

時代	旧石器時代
主な地域	南沢(湖内町・西ツ小塚)、河辺(戸島(七倉台))

秋田市で最も古い遺跡は、3万5千年前に始まった後期旧石器時代の遺跡で、主に秋田市南部の湖内町戸島から河辺地区にかけて確認されています。氷河期にあたるこの時代の日本列島は大陸と地続きで、人々は舟に乗り渡ることなく遺物を求めて移動しながらの生活を送っていました。

後期旧石器時代の古い段階にあたる地蔵田遺跡から出土した透閃石製(透閃石)製の磨製石斧からは北陸地方との関係が、同時代の新しい段階にあたる埴輪田遺跡から出土した黒石刃(黒石)からはソバリアや北海道との関係がわかり、秋田市域では当時の人々の語彙な移動によって南北の文化が行き交っていました。



※: 写真46 磨製石斧(地蔵田遺跡) 石: 写真47 黒石刃(埴輪田遺跡)

Ⅱ 拠点の歴史文化・移りゆく拠点・発信する文化

秋田市の県庁所在地である秋田市は平成9年(1997)に中核市になり、県都として発展を続ける東北地方日本海側の拠点都市の一つです。歴史を振り返ると、古代、中世、近世と地域の中枢に求められる地理的條件が変化しながら、秋田市域には場所を変えながら拠点となる重要施設が設置され続けました。古代の秋田城、中世の津城、近世の丸保田城がその代表で、それぞれの時代に定めた役割を果たし、また個性的な文化を創造し、発信した重要な歴史特性を持っています。

Ⅱ-① 時代を先取りした文化の創造と発信

時代	近世・近代
主な地域	中央、北部、江戸(東京)

平賀源内と小田政直武の出会いから生まれた日本初の洋風園である秋田蘭園は、江戸における秋田藩のネットワークがもたらしたともいえます。手抄蘭詩(蘭語堂書三二)の狂歌や蘭表紙(等)からも、秋田藩が江戸の文化人と濃密に交流していたことがうかがえます。

また、「キョウロウ(アトリー)」という国家的に新たな芸術である経典舞踏の創始者土芳葉の芸術精神は、城下町や町家の室内空間の影響を受けていることが近年の研究から指摘されています。他にも、プロレタリア文学「種崎く人」をはじめとした優れた芸術作品など、時代を先取りした文化が秋田の歴史性のなかで育まれてきました。



※写真48 蘭子庭のアトリー園 佐竹環山書

秋田の歴史文化の特異性(Ⅲ・Ⅳ)

Ⅲ 交流の歴史文化・海・川・陸の道

平成29年(2017)に認定された日本遺産「寛政を築いた私たちの夢が甦った真室川〜北前船着地地・船主集落〜」に代表されるように、秋田市域にはさまざまな歴史文化が行き交う海・川・陸の道がありました。北前船の寄港地である海が、北前船による海路の道、舟物川を用いた川の道、舟問街道に代表される陸の道となることが優れた交通ネットワークが形成され、その要所である秋田市域に発展をもたらしました。そして、海・川・陸の道沿いには、歴史文化を今に伝える文化遺産が多く残されています。

Ⅲ-① 海の旅路

時代	中世・近世
主な地域	北前(海内・七倉)、中央、西部、南沢、津城

秋田という地名が初めて文献に登場するのは『日本書紀』で、西暦天武4年(674)、180艘の軍船を率いた阿倍比羅夫の「新田」への来航です。これは、秋田の歴史文化が海と密接な関係を持つことを象徴しています。古代の秋田城、中世の津城、近世の丸保田城が築かれた場所の選定にも、海との位置関係が重視されました。また、川流が多く作られた舟物川の舟運を通じて、日本海海運内陸部にも経済的繁栄や文化の伝播をもたらしました。



※写真49 舟問街道の石碑記念文

Ⅳ 多様な地域の歴史文化・山・村・町に重なる時層

明治22年(1889)の市制施行により誕生した秋田市は、秋田藩の城下町を基盤に周辺の町村との合併を重ね、現在は906.07haの広大な市域を有しています。この広い市域では、山・村・町のさまざまな暮らしが息まじり、多様な歴史性を持つ多くの地域が育まれました。また、地域の特性は時代に応じて変化し、重層的な時の重なりを持っています。

Ⅳ-① 豊かな自然に刻まれた歴史

時代	中世
主な地域	全域

秋田平野が主要部を占める秋田市は、南から流れる舟物川の手元域に立地し、市域を囲むように山脈地帯が形成されています。東は標高1,170mの太平山をはじめ、六平や山形に覆われた出羽山地が広がります。山々には近世以降大きく人の手が入りましたが、中には天然秋田木が広がるなど佳時をしのびます。また、雄川・光平川・前見川などの河川が流れ、その上流には美しい景観を見せる渓流があります。西は日本海に臨み、大きく裾を織く海岸線に砂丘地帯帯に形成されています。

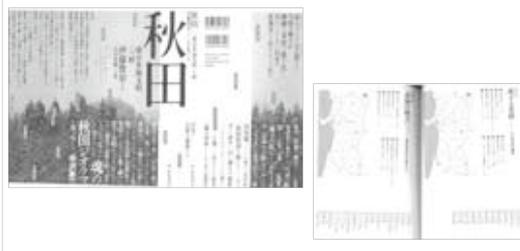
このように多様な自然環境を有し、特別天然記念物であるカササギが多く生息するなど豊かな自然に恵まれた秋田市域には、景観地や里山をはじめ、貴重な天然記念物が立地に応じて残されています。



※写真50 雄鷹山自然

最近「秋田 環日本海文明の扉」と題する伊藤俊治による秋田論が発行された。さきがけ新報に載って榎木野衣多摩美術大学教授の書評によれば「秋田という原郷が「日本の北の果てという辺境」というより「北に広がる北方モンゴロイド文化の入り口」へと異郷化され、これこそが我々の新しい出発点にな

秋田…環日本海文明への扉、突然の光彩!



る」、と論評されている。秋田を「南北文化の接点」ととらえる視点と重なるものがあるだろう。

秋田は文化財の宝庫

秋田市にはたくさんの指定等文化財が

第1節 指定等文化財

1.1 概要

秋田市には、令和5年4月1日現在で269件の指定文化財（国指定22件、県指定34件、市指定133件）、72件の国登録有形文化財、1件の国登録無形文化財があり、秋田県内の31市町村では最も多くの指定等文化財が保存されています（表1、資料編1）。

表1 指定等文化財数

種別	有形文化財						無形文化財	登録有形文化財	登録無形文化財	合計
	国指定	県指定	市指定	国登録	県登録	市登録				
国指定	2	1	1	1	1	1	2	0	0	8
県指定	0	33	14	14	14	14	0	0	0	79
市指定	0	0	118	11	11	11	0	0	0	150
国登録	0	0	0	72	0	0	72	0	0	72
県登録	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
市登録	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	34	133	87	26	26	72	1	0	342




図表に示すように、秋田市は有形無形の指定文化財等の宝庫であり、その数は令和5年4月現在 342 件にのぼっている。

また高橋萬年やそれに続く県人画家の活躍、地域に根差した勝平得之の存在などは、長い歴史文化の上に花咲いたものであろう。

高橋萬年につづく県人画家の活躍

- ・萬年は、40代以降は郷里に腰をすえ、ふるさと秋田の田園風景や風俗を中心に描き院展に出品を重ねた。1956年没。
- ・秋田大学教育学部美術学科の教授であり、日本画家の故横山津恵画伯（1916～2007年）はその弟子。教え子たちによる「恵花会」は秋田の日本画の中核を担っている。
- ・福田豊四郎や佐藤緋呂子などの県人画家の顕著な活躍が見られるのは、秋田の人の美や芸術に対して華やかに親しむ性格と日本画の伝統性を愛する姿勢をよく示している（新野直吉）




秋田市文化団体連盟と秋田市の関係

秋田市文化団体連盟は昭和32年12月2日「秋田市における芸術文化団体の自主的活動の強化促進を図り、芸術文化の普及振興と市民の文化高揚につとめ、もって秋田市の文化の向上と発展に寄与することを目的とする」として、発足している。創立に当たっては、元会長の故寺田九空先生の大変なご尽力とリーダーシップがあって、創立にこぎつけたことが記録されている。以後追って、当連盟と秋田市の関係を見てみよう。

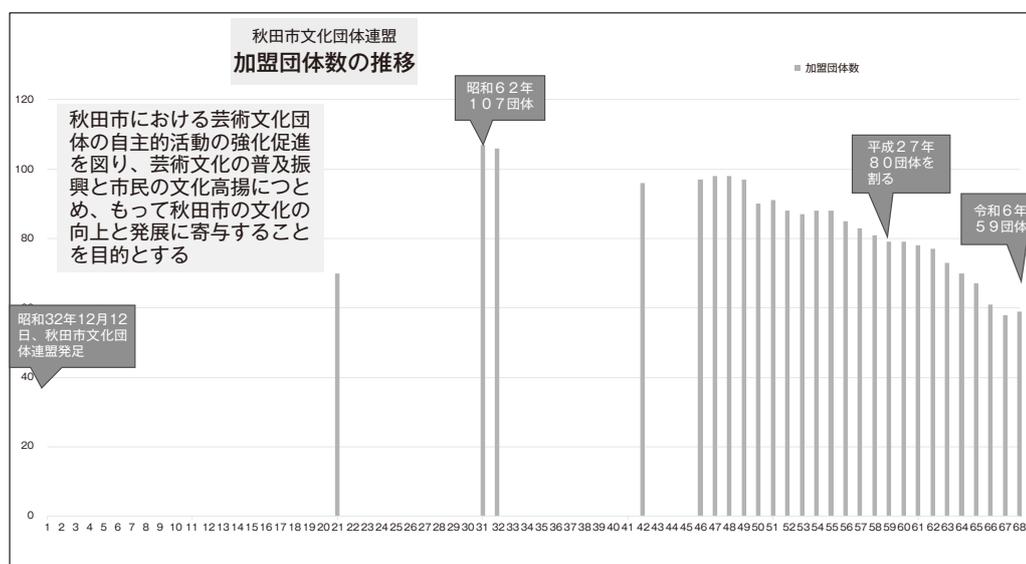
- 昭和32(1957)年12月12日発足以来昭和49年まで、歴代市長さん(武埜、川口、荻原、高田)を会長に戴いていた。
- 昭和32年、連盟発足時に秋田市から5万円の補助金が予算化された。
- 昭和33年10月～11月 第1回秋田市芸術祭(現在67回)
- 昭和39年市庁舎が現在の山王に移った時に記念協賛行事が行われ、また38年に連盟賞が制定されたこともあって補助金は15万円に増額された。当時加盟団体の年会費は15,000円
- 昭和50年高田市長が「団体も大きくなったのだから、連盟のほうで会長を選んだらどうか」と話があり、寺田九空副会長が会長となった。以後歴代市長を名誉会長に戴いている。
- 昭和55年6月22日秋田市文化会館開設、連盟や各団体の活動の拠点となった。
- 昭和58年全国に先駆けて、秋田市文化振興条例制定、「文化都市・秋田」を宣言する
- 昭和61年教育委員会内に文化振興課を新設(現 市観光文化スポーツ部 文化振興課)
- 平成元年5月10日 社団法人登記
- 同年8月31日 連盟機関誌「罫田文化」創刊号発行 現在58号
- 平成元年11月17日 秋田総合生活文化会館・美術館(アトリオン)オープン
- 平成24年7月1日 秋田市にぎわい交流館AUオープン
- 平成26年4月1日 一般社団法人登記
- 平成26年 第29回国民文化祭 in 秋田に連盟挙げて係わる
- 平成27年よりアフター国文祭「第1回秋田市文化の祭典」開催(今年で10回目)
- 平成27年度秋田市より「芸術祭協賛金」
- 平成28年 それまで教育委員会に設置されていた「文化振興室」を市長部局に移管し秋田市観光スポーツ文化部「文化振興課」として新たにスタート
- 令和3年3月21日 秋田市文化創造館オープン
- 令和4年6月1日新文化施設「あきた芸術劇場ミルハス」開館、9月23日にグランドオープン
- 同年度秋田市文化振興課の小中学生を対象とした「芸術文化体験プログラム事業」(通称“トライ“)を連盟で受託 以後令和7年現在事業継続実施中
- 令和4年9月30日 秋田市文化会館閉館

以上の流れで見る如く、秋田市の並々ならぬご指導とご協力のもとに、本連盟が発展してきたことが伺える。また秋田市の中心市街地が「秋田市芸術文化ゾーン」として整備され、芸術文化活動が活発に行われるようになった。

秋田市文化団体連盟加盟の団体の推移

昭和32年の発足時に何団体加盟していたかは、手元の資料では判明しない。昭和53年には75団体、昭和62年には歴代最高の107団体の加盟が記されている。以後漸減傾向となり、創立50周年記念誌には90団体となり、平成27年には79団体と80団体を切った。創立60周年は79団体であったが、その後指導者の高齢化、芸術文化活動の多様化、少子化、人口減少などの様々な要因が重なり合って、加盟団体は減少の一途を辿り、令和6年度で59団体となっている。連盟30周年記念誌に載っている110団体中現在まで加盟している団体は39団体に過ぎない。華道や茶道に継続加盟団体が多い。令和9(2027)年には創立70周年を迎える。そこに向けて、会員増強を目指したいところである。

加盟団体数の推移を示すグラフを掲載する。



まとめ

最後に以下のごとくまとめて、出席した議員の方々にご今後のご支援とご協力をお願いした。

ま と め

- 秋田は有史以来多様な文化を培ってきた歴史を持ち、大きな文化的基盤を有している。
- それらの歴史的遺産を活用し、郷土に誇りを持ってゆく機運を醸成することが大切と考える。
- 文化団体連盟は各団体をまとめ、秋田市の文化向上を目的に昭和32(1957)年に発足し、現在68年を数えている。
- 会員数は結成30年あたりの107団体をピークとして減少に転じ、現在59団体となっている。
- 指導者の高齢化、少子化による新規加入者の減少、そして芸術文化活動の多様化が要因となっていると考える。
- 行政、教育現場とタイアップして、若年層にいかに魅力を伝えてゆくかが、今後の大きな課題と考える。
- 創立70周年を令和9年に控え、会員増は急務であり、全力で取り組みたい。

第 67 回 秋田市芸術祭

No	芸術祭事業名	日程・会場	実施内容
1	四季の彩	令和 6 年 7 月 7 日 (日) ミルハス中ホール	大衆芸能部門 (フラダンス・タップダンス・歌謡曲・大正琴・ジャズダンス) による公演
2	夏休みトライ	8 月 17 日 (土) ミルハス大ホール：教室①② ミルハス小ホール A：教室③④ 8 月 18 日 (日) ミルハス大ホール：教室⑤⑥ ミルハス小ホール A：教室⑦⑧	①おこと (生田流箏曲清絃会) ②謡曲 (秋田市謡曲三流同好会) ③茶道 1 (玉川遠州流) ④茶道 2 (遠州流茶道秋田県連合会) ⑤日本舞踊 (邦舞部門) ⑥港ばやし (土崎港ばやし保存港和会) ⑦いけばな 1 (千家生花) ⑧いけばな 2 (華道専正池坊秋田支部)
3	秋田市民文芸大会	9 月 21 日 (日) 秋田市にぎわい交流館 AU	文芸部門 (短歌・俳句・川柳) による大会
4	総合美術展	10 月 3 日 (木) ～ 10 月 8 日 (火) アトリオン 2 階美術展示ホール	美術部門 (日本画・水墨画・洋画・俳画・書道・ちぎり絵・モラ手芸) による展示会
5	バレエ公演	10 月 6 日 (日) ミルハス中ホール	洋舞部門による公演
6	総合芸能公演	10 月 13 日 (日) ミルハス中ホール	大衆芸能部門 (港ばやし・新舞踊・民謡・民謡・フラダンス) による公演
7	秋田市民合唱祭	10 月 20 日 (日) ミルハス大ホール	秋田市民合唱連盟による合唱祭
8	古典芸能のつどい	10 月 20 日 (日) ミルハス中ホール	邦舞邦楽部門 (箏曲・篠笛・尺八・日本舞踊) による公演
9	総合いけばな展	10 月 28 日 (月) ～ 11 月 5 日 (火) 秋田市にぎわい交流館 AU 展示ホール	華道部門によるいけばな展 (1 次・2 次・3 次)
10	合同茶会	11 月 3 日 (日) 秋田市文化創造館 秋田市にぎわい交流館 AU	茶道部門による茶会
11	第10回秋田市文化の祭典	11 月 3 日 (日) ミルハス中ホール	舞台公演 (箏曲・篠笛・日本舞踊・謡曲・新舞踊・大正琴・民謡・港ばやし) による公演
		11 月 3 日 (日) ～ 5 日 (火) 秋田市にぎわい交流館 AU 展示ホール	各部門展示 (美術展示・文芸大会互選受賞作品展示) ※総合いけばな展 3 次会期中
12	邦楽合同公演	11 月 10 日 (日) ミルハス中ホール	邦楽部門 (謡曲・詩吟) による公演
	機関誌「鱒田文化」発行	年 1 回発行	令和 6 年度号

理事会 (5/14) ねぶり流し館



定時総会 (5/28) ねぶり流し館



第67回 秋田市芸術祭

四季の彩

秋田市芸二部
 ●大正琴研習院 秋和流
 ●秋田フラダンスオフラオケマカニオル
 ●早川みか TAP ダンススタジオ
 ●大正琴・文化華 [花かげ会]
 ●塚 歌謡教室
 ●ダンススタジオ S.T.Rays

■と き 令和6年(2024年)7月7日(日)
開場12:30 開演13:00

■と ころ あきた芸術劇場ミルハス 中ホール

■入 場 料 1,000円 (小学生無料)

二来場の皆様へ
 感染症対策のため、以下についてご協力をお願いいたします。
 ①マスクの着用、手洗い等および換気。
 ②会場内での会話ではできるだけお控えください。

主催 ▲一般社団法人 秋田市文化団体連盟
 〒010-0875 秋田市千秋町徳町2番52号 あきた芸術劇場内
 電話(018)853-5596 FAX(018)853-5597

共催：秋田市
 後援：秋田市の文化を育てる市民の会・秋田魁新報社・NHK秋田放送局・ABS秋田放送・AKT秋田テレビ・AAB秋田朝日放送・エフエム秋田

2024 Bravo aux Jeux olympiques
 Un bouquet de fleurs dans le cheik Paris

1. 百万本のバラ 作曲 R.Pauls
 2. ストダンスは私に 作曲 M.Shuman
 3. オーシャンビレッジ 作曲 M.Wish
 4. パリの夜の下 作曲 H.Giraud
 5. サカサバ 作曲 J.Fontana
 6. スタンダードアローン 作曲 久石 譲

会場は美しい花のバスケットで飾り付けが施されています
 二来場の皆様からご来場の場立に
 (お花ごっこ)を贈りましょう

主催：大正琴研習院 秋和流 塚 歌謡教室
 共催：秋田市 秋田魁新報社
 〒010-0875 秋田市千秋町徳町2番52号
 電話(018)853-5596 FAX(018)853-5597

秋田フラダンス Na Hula O Ke Makani Olu

フーハハ!

秋田が一番古く、最初のフラダンス教室としてスタートし、33年目を迎えています。
 昔も秋田にも南国の風をそよかせ秋田を元気にし、日々と踊り続けてきました。
 昔代をこえて心ひびとびをモーターに次の世代へ、フラ、アロハの心も大切に伝えてきました。
 たくさんの思い出があり、今の私たちがいます。
 今日、感謝の心で私たちのフラも、愛をお届けします♡
 ハワイの音楽へ……Let's go

1. Kawika (古典フラ)
 2. Na Wai Kaulana
 3. Aloha E Komo Mai
 4. Aloha No Kona
 5. Hapa Haale Girl of My Dreams
 6. Puulasana
 7. Lahaina Luna

指導・構成 鎌田 和子
 奥村 美和子

出演者
 鎌田 和子 六平キヨ子 須田 知子 楳田 和也 吉田 睦子
 斉藤 友子 滝田ひとみ 工藤 美香 近江 道子 斉藤 悦子
 鳥嶋 早苗 島山有香里 千田さとみ 宮城 美香 志田 美帆
 近藤 綾子 阿部 初子 阿部タエ子 阿部八重子 三浦 光子
 佐藤千枝子 島山 幸子 中村 良子 半田 富子 斎藤枝美子
 和田タキ子 島山 唯 伊藤ことり 石塚 遥華 加藤 怜
 島海 蘭 奥村 愛美 奥村美和子

タップ&TAPダンスショー Vol.16

早川みかTAPダンススタジオ
 振付・構成・演出 早川みか

【出演者】
 早川みか 宮崎麻衣子 渡辺洋子 渡辺美穂 佐藤麻衣子
 中川幸美 佐藤 十香 渡辺美穂 渡辺美穂 かの山
 渡辺美穂 阿部 初子

【バックコーラス】
 高橋島代美 津村美穂子 水谷美穂子

会場は美しい花のバスケットで飾り付けが施されています
 二来場の皆様からご来場の場立に
 (お花ごっこ)を贈りましょう

主催：大正琴研習院 秋和流 塚 歌謡教室
 共催：秋田市 秋田魁新報社
 〒010-0875 秋田市千秋町徳町2番52号
 電話(018)853-5596 FAX(018)853-5597

大正琴&コーラス 心の響

大正琴・文化華「花かげ会」
 会長 佐々木琴樹

原曲集の一の名曲を中心に心の歌をお届けします

1. 蘇州夜曲 (1940年) 作詞 西園八十 作曲 藤原良一
 2. 青い山脈 (1949年) 作詞 西園八十 作曲 藤原良一
 3. 青春時代 (1976年) 作詞 阿久 笠 作曲 島田一

大角 源 須川 敏
 大正琴 ソツパノ I 越川三雄子 藤原 ヒサ 戸村千鶴子 藤原ヒサ子 佐藤美香子 高野 祥子
 藤原フナ子 一岡 静子 佐々木和子 佐々木美子 加藤マキ子 今野 紗子
 美坂川ミチ子 池田 由紀 今野千寿子 斎藤 綾子 佐藤悦子 佐々木琴樹
 鈴木 ミチ 宮崎 悦子 船橋 幸美
 ソツパノ II アルト 藤田由美子 藤田美穂子 ベース 高木 久子

大賞曲
 歌 藤原 琴美 (メソソフツノ)
 秋田セツメ会
 小野 麗央 千葉 美男 藤原 裕歌 渡辺たかし 武田 金作 川越 俊明
 伊藤 健夫 三輪 美穂 伊藤 賢隆 濱野 勉夫 大内 興明

令和7年6月21日(土) 花かげ会創立40周年記念演奏会 あきた芸術劇場ミルハス開演決定

日本の心・大衆の歌

「楽しく歌って健康に！」

祝 歌謡教室

歌って不眠症ですね！「楽しい時・嬉しい時」心に、「爽しい男気」も溢れます。
 今…私たちは「昔懐かし歌」に思いを馳せると、癒されたいと願っています。

出演者 曲目 歌手 作詞 作曲

1. 佐藤 幸雄 北前船 玉木 ひろし 石原 信一 上総 優
 船 程茂郎 程茂郎 幾月

2. 川辺 京子 さだめ郷ゆ 丘 みどり 森坂 とも 向井 浩二

3. 奈良崎真夫 さよならは言わない 木下 あさら 杉本 謙人 杉本 謙人

4. 佐々木保子 終着駅にて 大月 みやこ 木木れい七 幸 幸平

5. 菊池由美子 フットノック 秋元 順子 田久保真見 田尾 将英

6. 福原 敏明 みだれ咲き 木村 徹二 木村 竜蔵 木村 竜蔵

バックコーラス
 阿久津裕子 池田キミ子 小玉 友子 小野 蘭子 鎌田美代子
 大森 正子 前田富美子 小林 淑子 小林 悦子 山田 妙子
 程塚 桂子 菅原ケイ子 山際 啓子

S.T.Rays Dance コレクション Vol.9

ダンススタジオ S.T.Rays
 構成・演出・振付 明石紗輪子
 振付 藤田 杏

S-R

-favorite piece story-

S-R がお気に入りの曲にのせて…
 最高の作品(piece)を。
 最高のメンバーで。
 最高の形に繋ぎ合わせていく
 最高の時を…

皆様へお贈りいたします☆

【出演者】
 真川 ひな 坂波明花莉 伊藤美也日 中道美菜津 原田 咲来 松田 漢斗
 渡邊明日花 藤井あゆな 松田 夏央 三原 晴衣 武野 愛弓 白鳥 麻輝
 竹下 杏 本間 莉桜 高橋 裕花 西沢 真希 三浦 琴音 村上 舞
 本間 莉桜 中道 愛珠 渡邊 悠希 武石 優 竹下 李 二階 菜緒
 藤田 結貴 三橋 楓 本田 蓮昭

「四季の彩」加盟団体

団 体 名	代 表 者 名	連 絡 先
秋田フラダンスオフラオケマカニオル	鎌田 和子	090-2362-9483
早川みか TAP ダンススタジオ	早 川 み か	845-6591
塚歌謡教室	程 塚 敏 明	857-2755
大正琴・文化華「花かげ会」	佐々木 琴 樹	831-2363
大正琴研習院秋和流	中 村 結 林	836-6630
ダンススタジオ S.T.Rays	明 石 紗 輪 子	833-8886
演奏會	滝 利 香津代	03-3699-2758

芸術文化体験プログラム事業「夏休みトライ」



開催日 / 2024年8月17日(土)・18日(日)
会場 / あきた芸術劇場ミルハス
後援実行 / 秋田市・秋田県立文化芸術振興センター

種別	種目	会場	日時	料金
① 箏曲(おこと)	生田流箏曲清絃会	あきた芸術劇場ミルハス	8月17日(土) 14:00開演	大人1,000円、小人500円
	秋田県立文化芸術振興センター	あきた芸術劇場ミルハス	8月18日(日) 14:00開演	大人1,000円、小人500円
	秋田県立文化芸術振興センター	あきた芸術劇場ミルハス	8月17日(土) 14:00開演	大人1,000円、小人500円
	秋田県立文化芸術振興センター	あきた芸術劇場ミルハス	8月18日(日) 14:00開演	大人1,000円、小人500円
	秋田県立文化芸術振興センター	あきた芸術劇場ミルハス	8月17日(土) 14:00開演	大人1,000円、小人500円
	秋田県立文化芸術振興センター	あきた芸術劇場ミルハス	8月18日(日) 14:00開演	大人1,000円、小人500円
	秋田県立文化芸術振興センター	あきた芸術劇場ミルハス	8月17日(土) 14:00開演	大人1,000円、小人500円
	秋田県立文化芸術振興センター	あきた芸術劇場ミルハス	8月18日(日) 14:00開演	大人1,000円、小人500円
	秋田県立文化芸術振興センター	あきた芸術劇場ミルハス	8月17日(土) 14:00開演	大人1,000円、小人500円
	秋田県立文化芸術振興センター	あきた芸術劇場ミルハス	8月18日(日) 14:00開演	大人1,000円、小人500円
② 謡曲(能)	秋田市謡曲三流同好会	あきた芸術劇場ミルハス	8月17日(土) 14:00開演	大人1,000円、小人500円
	秋田県立文化芸術振興センター	あきた芸術劇場ミルハス	8月18日(日) 14:00開演	大人1,000円、小人500円
	秋田県立文化芸術振興センター	あきた芸術劇場ミルハス	8月17日(土) 14:00開演	大人1,000円、小人500円
	秋田県立文化芸術振興センター	あきた芸術劇場ミルハス	8月18日(日) 14:00開演	大人1,000円、小人500円
	秋田県立文化芸術振興センター	あきた芸術劇場ミルハス	8月17日(土) 14:00開演	大人1,000円、小人500円
	秋田県立文化芸術振興センター	あきた芸術劇場ミルハス	8月18日(日) 14:00開演	大人1,000円、小人500円
	秋田県立文化芸術振興センター	あきた芸術劇場ミルハス	8月17日(土) 14:00開演	大人1,000円、小人500円
	秋田県立文化芸術振興センター	あきた芸術劇場ミルハス	8月18日(日) 14:00開演	大人1,000円、小人500円
	秋田県立文化芸術振興センター	あきた芸術劇場ミルハス	8月17日(土) 14:00開演	大人1,000円、小人500円
	秋田県立文化芸術振興センター	あきた芸術劇場ミルハス	8月18日(日) 14:00開演	大人1,000円、小人500円

① 箏曲(おこと)【生田流箏曲清絃会】



② 謡曲(能)【秋田市謡曲三流同好会】



③ 茶道1【玉川遠州流】



④ 茶道2【遠州流茶道秋田県連合会】



⑤ 日本舞踊【邦舞部門】



⑥ 港ばやし【土崎港ばやし保存港和会】



⑦ いけばな1【千家生花】



⑧ いけばな2【華道専正池坊秋田支部】



秋田市広報広聴課の取材があり、「こんにちは秋田市から」「いきいき秋田市から」で放送されました。



第67回 秋田市芸術祭

総合美術展

— 日本画・水墨画・洋画・俳画
書道・ちぎり絵・モラ手芸 —

目 録

と き 令和6年10月3日(木)～10月8日(火)
10:00～16:00
(ただし初日は正午より、最終日は15:00まで)
ところ アトリオン 2階 美術展示ホール
◎入場無料

主 催 (一社)秋田市文化団体連盟・共催 秋田市
後 援 秋田市の文化を育てる市民の会
秋田魁新報社・NHK秋田放送局・ABS秋田放送
AKT秋田テレビ・AAB秋田朝日放送・エフエム秋田

出品団体

素 心 会 代表 神尾忠雄	〒010-0913 保戸野鉄砲町3-48 電話 862-8553
秋 田 市 書 道 会 会長 加藤了楓	〒010-0903 保戸野八丁3-18 電話 823-6915
孝 華 書 院 院長 茂林恵子	〒010-0022 橋山南中町4-4 電話 834-1413

素 心 会

秋 田 市 書 道 会

孝 華 書 院

栗	五十嵐 貴世衣	北 国 の 郷 愁	安 保 溪 鹿	劉白倫・酒 徳 頌	大 塚 祥 華
紅 葉	"	俵 万 智 の 句	石 川 抱 鶴	杜 甫・登 岳 關 樓	小 幡 英 子
清 流	"	五 福	宇 月 よしを	萬 壑 樹 聲 滴 千 崖 秋 氣 高	加 賀 谷 育 子
旬 の 秋	神 尾 忠 雄	白 菊	宇 月 よしを	把 手 共 行	黒 木 淳 祐
男 鹿 の 奇 岩	"	川 中 島	宇 月 よしを	千 字 文	提 嶋 彩 華
思 い の ま ま に	"	源 氏 物 語 よ り	梅 村 大 虚	延 壽 萬 歳	提 嶋 真 央
S.ダリの「パン籠」	根 田 堅 三 郎	佐 佐 木 信 綱 の 歌	梅 村 大 虚	翔 龍	佐 々 木 勝 直
若 神 の 「 鷄 」	"	麦 笛 を 吹 く 子	遠 田 星 光	和 安 而 好 敬	高 橋 純 子
E.ガレの「花瓶」	"	長 恨 歌 よ り	大 黒 禾 苑	詩 題 窓 外 竹 茶 煮 石 根 泉	高 橋 由 美 子
秋 (1)	齋 藤 博	蓮 ひ ら く	大 塚 明 子	古 里 の 流 れ 変 は ら ず 青 葉 山	田 村 華 苑
" (2)	"	親	加 藤 了 楓	張 増 慶・溪 上	細 川 華 聲
" (3)	"	雪 月 花	加 藤 了 楓	米 芾・蜀 素 粘 六 首	森 合 紅 華
朝 顔	佐 藤 公 子	日 月 光 華	加 藤 了 楓	李 白・把 酒 問 月	渡 部 晃 溪
梅 に 雀	"	こ こ ろ み に	小 武 海 直 美	虎 嘯 風 生	茂 林 恵 子
鉄 線 花	"	せ せ ら ぎ や	佐 藤 マ キ		
「モニュメント」 ～マールボロ,NZ～	長 谷 部 光 哉	幸 俊 民 の 句	篠 田 溪 山		
「Smile」 ～Mt. Cook National Park～	"	道 元 禪 師 の 句	篠 田 溪 山		
「風光る」 ～ワイヘキ島,NZ～	"	昭 明 太 子 の 言 葉	篠 田 溪 山		
Milky Way	堀 内 規 代	夏 月 似 秋 天	竹 村 和 佳		
贈 物	"	万 葉 集	沼 辺 洋 子		
オレンジ色の木の実	"	一 茶 の 句	原 田 翔 泉		
夜明けの風景	"	富 安 風 生 の 句	原 田 翔 泉		
横浜ベイブリッジ	宮 下 正 弘	高 潔 無 比	保 坂 省 峰		
ロッキーマウンテン	"				
ヒマラヤ山脈	"				

第45回 市民文化のつどい・
第21回郷土秋田を考える文化講演会



第67回 秋田市芸術祭

バレエ公演

～ 秋の祭典 ～

と き
令和6年10月6日(日)
開場 13:15 開演 14:00

と ころ
あきた芸術劇場ミルハス
中ホール

入場料 1,000円

主催 (一社)秋田市文化団体連盟
秋田市
共催 秋田市の文化を育てる市民の会
秋田魁新報社・NHK秋田放送局・ABS秋田放送
後援 AKT秋田テレビ・A・B秋田朝日放送・エフエム秋田

この会場のみならず
総協賛の協力をさせていただきます。
観覧料が足りない方、お足元不安の方は、2階席や階段等
各席を前向きに貸し出す場合がございます。

一般社団法人 秋田市文化団体連盟
秋田七千子舞台(2階席)内
〒990-0001 秋田市青森町1-1-1
TEL (018) 853-5597
FAX (018) 853-5597

渡部立子バレエ学園

～バレリーナへの夢(No2)～

- オープニング
工藤はるの 田中 珠 木村 姫乃 畠山 葵
田口 理那 奈良 茉夏 菊地 華凛
- 「バリの炎」より ジャンヌのVa 佐々木 柚
- 「眠れる森の美女」第三幕より オーロラのVa 菊地 華凛
- 「ドン・キホーテ」第一幕より キトリのVa 畠山 葵
- 「白鳥の湖」第二幕より オットのVa 木村 姫乃
- 「サンタ・クロースの森」より
オケストラ形の内踊り
サンタ・クロース 藤原 萌
指揮者 萩生 夏暁
オケストラ形 岩村 美空 菅原 千夏 藤倉花弥乃
- 「ディアナとアクティオン」より ディアナのVa 奈良 茉夏
- 「タリスマン」より ニリチのVa 田口 理那
- 「ラ・バヤデル」より ガムザッティのVa 田中 珠
- 「ライモンダ」より ライモンダのVa 工藤はるの
- フィナーレ
藤原 萌 工藤はるの 田中 珠 木村 姫乃
畠山 葵 田口 理那 奈良 茉夏 菊地 華凛
佐々木 柚 岩村 美空 菅原 千夏 藤倉花弥乃
萩生 夏暁

〒011-0941 秋田市土崎港北二丁目4-8 渡部立子バレエ学園
TEL 090-3331-5889
URL(PC、スマートフォン) : <https://mitsuko-ballet.amebaownd.com>

平沢有子クラシックバレエスタジオ

「くすみ割り人形より」ークララの夢

マーチ 近藤 結愛 高橋 空杏 折野 真帆 倉田 愛唯
岡 夏輝 櫻庭あまね 多賀糸桃花

人形 a 秋元 咲輝 石井 樹愛
b 黒木 麻央 清水 楓文
c 藤原 花 (NBAバレエエグゼクティブ)

スペインの踊り
安藤 涼香

ロシアの踊り
久米田麻衣 藤谷 友菜 栗原 和香
岡 千晃 佐藤 花芽

中国の踊り
清水 楓文 菊池 花恋
近藤 結愛 折野 真帆

フランスの踊り
堀田 香 平澤雛菜子 石井香菜子 平澤理菜子

クラウン
黒木 麻央 大久保彩鞠
高橋 空杏 倉田 愛唯 岡 夏輝
櫻庭あまね 多賀糸桃花

金平糖の精
吉田 彩華

フィナーレ

〒010-0023 秋田市橋山本町1-3 平沢有子クラシックバレエスタジオ
TEL・FAX (018) 833-7677 (スタジオ)

平沢有子バレエスタジオ

鎌田久美子バレエスタジオ

A. 祈り ハーライン曲
遠藤 真琴 関谷 唯 鈴木 寿樹 古戸ゆき乃 菊地かなえ

B. 海と真珠 プー二曲
高橋 叶菜 菊地 奏

C. 「ドン・キホーテ」より キュービットのVa. ミンクス曲
今野 絵麻 内田 和花

D. 「バキータ」より バキータのVa. ミンクス曲
鈴木 詩

E. 「サタネラ」より サタネラのVa. プー二曲
鈴木 暖

F. ワルツ チェブルカ曲/オリガ・サファイア振付
佐藤みず希 菊地かなえ

G. 「コッペリア」第一幕より抜粋 ドリープ曲
1. マーチ
2. パレード
3. ヴァリエーション
4. コード

スワニルダ 鈴木 暖
スワニルダの友だち
遠藤 真琴 関谷 唯 鈴木 寿樹
鈴木 詩 古戸ゆき乃 高橋 叶菜
菊地 奏 今野 絵麻

〒011-0946 秋田市土崎港中央一丁目18-8 鎌田久美子バレエスタジオ
TEL・FAX (018) 845-0082 (スタジオ)
TEL・FAX (018) 845-2464 (自宅)
TEL (0185) 45-3221 (大海教室)
E-mail:kamada1173@yahoo.co.jp

エンジェルバレエスタジオ

「フロムナード」
構成/振付: 片谷沙和子

- LIFE ～それぞれの道～ 振付: 藤平 真梨
- English Country Garden
綱島 更紗 中山 千芽 清川 紗希 菅原 理央
鈴木 凜央 江幡 夢音 小野 紗希 田中理帆子
大友 綾季 荒田 菜緒 今井 祐子 門脇 綾香
藤原 香住 小林 愛未 高畑多恵子 畠山万壽子
半田ゆかり 巽田 真弓 水田真由美 渡部 昭子
- Sailors
A 大友 咲希 近藤 杏奈 高田 千暖 岩谷 珠寿
大友 沙華 角田 優芽 片谷 柚希 工藤 千尋
近藤 咲歩 豊田 翔子 塚元 義将 天野 聖海
畠山 真那 菊地ねいろ 下平 紗絵 田中紗帆子
富樫 麻結 安田 怜未
B 綱島 更紗 中山 千芽 清川 紗希 菅原 理央
鈴木 凜央 江幡 夢音 小野 紗希 田中理帆子
大友 綾季 荒田 菜緒
- Scottish Dance
藤原 香住 今井 祐子 門脇 綾香 小林 愛未 高畑多恵子
畠山万壽子 半田ゆかり 巽田 真弓 水田真由美
渡部 昭子
- 威風堂々 振付: 藤平 真梨
全 員

〒010-0921 秋田市大町1丁目3-34
ADTビル1F
エンジェルバレエスタジオ
TEL (080) 6016-6834(片谷)

奥村信子バレエ研究所

- Cats Ambition 2023作品
楽敵な野望
真夜中のライブ
使用曲 ショパン「華麗なるワルツ」他
橋本 千香 栗原 弓子 松沢 美香 小室 綾子
李 晶子 渡部 善子 佐藤 千晴 清田 水恵
堀野友理想 吉川友里香 小松恵美子 早坂 由佳
富橋 英美
- ジョリー ホリデイ 2024作品
「メリー・ボヘンズ」より
小室 容大 中野可咲子 田口 華蓮 小室 ゆう
長谷川真子 栗原 千依 佐々木玲奈
マミー 早坂 由佳
ナニー 清田 水恵
- SUBWAY 2024作品
一己が誇るメニュー……
使用曲 KLAZZBROTHERS & CUBAPERCUSSION
橋本 千香 栗原 弓子 松沢 美香 小室 綾子
李 晶子 渡部 善子 佐藤 千晴 清田 水恵
堀野友理想 吉川友里香 小松恵美子 早坂 由佳
富橋 英美

〒010-1427 秋田市仁井田新町二丁目7-1 奥村信子バレエ研究所
TEL・FAX (018) 839-6451
<http://www.oku-ballet.com>
E-mail:modem5_0823@yahoo.co.jp
E-mail:oku-modem5@docomo.jp

令和6年度

第67回 秋田市芸術祭

総合芸能公演

港ばやし 新舞踊 民踊 民謡 フラダンス

とき
令和6年 **10月13日** (日)
開場: 12時30分
開演: 13時

ところ
あきた芸術劇場ミルハス 中ホール

入場料
1,000円 (中学生以下は入場無料)

- ◇主催 一般社団法人秋田市文化団体連盟
- ◇共催 秋田市
- ◇後援 秋田市の文化を育てる市民の会
秋田魁新報社・NHK秋田放送局・A B S 秋田放送
A K T秋田テレビ・A A B秋田朝日放送・エフエム秋田

一般社団法人 秋田市文化団体連盟
〒010-0875
秋田市千秋明徳町2-52
(あきた芸術劇場ミルハス内)
TEL (018) 853-5596
FAX (018) 853-5597

プログラム

〈第一部〉

司会 鈴木 まゆみ

- 民謡 **南部よしやれ** (土崎民舞踊会)
菅原 はるみ 大塚 広子 佐渡谷 寛子 佐藤 優紀
佐藤 雪菜
- 民謡 **真室川音頭** (土崎民舞踊会)
石塚 喜奈 倉田 章子 根田 姫江子 大野 美佐子
菊地 房子
- 民謡 **淀の舟唄** (土崎民舞踊会)
泉 希 鈴木 夕子 鈴木 真奈美 佐藤 きよ子
齋藤 勝久
- フラダンス **Hiilawe 比ガI** (ハラウ フラ オ レファ ケアロハ)
田中 麻季絵 真坂 めぐみ 真坂 智恵子 三船 榮子
三森 宏美 佐藤 ヨリ子 池田 清子 川上 孝子
大山 礼子 渡辺 敏子 相場 ひろ子 佐々木 せつ子
佐藤 和子
- フラダンス **Kaha ka manu** (ハラウ フラ オ レファ ケアロハ)
佐藤 優子 水俣 明子 堀井 鈎子 伊藤 美喜子
児玉 範子 保坂 佳子
- フラダンス **He Aloha no Honolulu** (ハラウ フラ オ レファ ケアロハ)
真坂 めぐみ 真坂 智恵子 三船 榮子 三森 宏美
佐藤 ヨリ子 池田 清子 川上 孝子 大山 礼子
渡辺 敏子 相場 ひろ子 佐々木 せつ子 佐藤 和子
- 民謡 **おこさ節** (祐徳会)
鎌田 誠子 古谷 博子
- 民謡 **秋田草刈唄** (祐徳会)
柏谷 一三 工藤 等
- 民謡 **秋田おぼこ節** (祐徳会)
須田 シゲ子 鎌田 昌子

～休憩～

《加盟団体》

団体名	代表者	郵便番号	住所	電話番号
土崎港ばやし保存港和会	大川 正	011-0941	土崎港北1-4-7	846-1076
土崎民舞踊会	加藤 トヨ子	011-0946	土崎港中央六丁目10-9	845-5556
(公財) 日本民謡協会 祐徳会	佐藤 祐幸	010-1414	御所野元町七丁目12-3	839-6780
ハラウ フラ オ レファ ケアロハ	田中 麻季絵	010-0041	広面字昼寝17-9 事務局 伊藤	832-6265

ご来場のみなさまへ

※マスク、検温、手指の消毒等、体調管理にお気を付けてご来場ください。

〈第二部〉

- 港ばやし **寄せ太鼓** (土崎港ばやし保存港和会)
湊 ばやし
湊 剣 ばやし
あいや節
- 民謡 **武田節** (土崎民舞踊会)
倉田 章子 根田 姫江子
- 新舞踊 **ほろ酔い満月** (土崎民舞踊会)
菅原 はるみ 大塚 広子 佐渡谷 寛子 佐藤 優紀
佐藤 雪菜
- フラダンス **O'Oe No Paha Ia** (ハラウ フラ オ レファ ケアロハ)
佐藤 優子 水俣 明子 伊藤 美喜子 児玉 範子
保坂 佳子
- フラダンス **愛燦燦** (ハラウ フラ オ レファ ケアロハ)
田中 麻季絵
- フラダンス **Haleiwa Hula** (ハラウ フラ オ レファ ケアロハ)
田村 栄子 佐々木 南菜子 草階 弥生 児玉 定子
青木 光子 中村 幸子 保坂 キヨ子 渡辺 アヤ子
高橋 ひろみ 他の出演者全員27名
- 民謡 **秋田節** (祐徳会)
清野 久美子 浅野 雛 中川 緑
- 民謡 **秋田長持唄** (祐徳会)
高木 弘江
- 民謡 **秋田大黒舞** (祐徳会)
高橋 康 信 博山 とし子
(祐徳会伴奏者)
三味線 児玉 忠 廣
尺八 神馬 隆水 土井 正 幸
太鼓 古谷 博子 博山 とし子
続括 佐藤 祐幸

第61回 秋田市民合唱祭

日時 令和6年10月20日(日) 12:30

会場 あきた芸術劇場ミルハス 大ホール

プログラム

- (12:30)
1. 秋田記念市民歌
黒木 玲子 作詞 指 揮 三 澤 由美子
藤原 政幸 作曲 ビアノ 早 川 明 子
- (12:33)
2. しおかぜコーラス (16名)
野に咲く花のように 杉山 政美 作詞 指 揮 三 澤 由美子
小林 亜星 作曲 ビアノ 早 川 明 子
蘇州夜曲 西條 八十 作詞 藤原 良一 作曲
- (12:40)
3. コールそよかぜ (12名)
歌の翼に 津川 圭一 作詞 指 揮 林 恭 子
メンデルスゾーン 作曲 ビアノ 清 水 洋 子
渾田 俊一郎 編曲
そよ風に寄せて くらね あきら 訳詞
メンデルスゾーン 作曲
- (12:47)
4. 混声合唱団 宇宙 (15名)
待ちぼうけ 北原 白秋 作詞 指 揮 千 葉 多恵子
山田 耕祥 作曲 ビアノ 船 木 麻 衣
愛の花 あいみょん 作詞
あいみょん 作曲
- (12:54)
5. さくら合唱団 (14名)
「二声のわらべうた民謡曲集」より
ひひやふゆ わらべうた 指 揮 難 波 智賀子
あめこんこん 本間 雅夫 作曲 ビアノ 田 原 千我子
竹の子一本 竹うひんやさん
いちべえさんが
Wish ~ 夢を信じて 杉本 竜一 作詞
杉本 竜一 作曲
- (13:01)
6. コール・カベラ (25名)
から松 北原 白秋 作詞 指 揮 酒 井 貴
後藤 悠一郎 作曲 ビアノ 酒 井 あゆ子
女声合唱のための
今が美しい 村田 さち子 訳詞
鈴木 憲夫 作曲
- (13:08)
7. 童謡コーラス (15名)
夕陽 エミリー・ドカワ 原詩 指 揮 小野崎 彰 子
ながにしあかね 作曲 ビアノ 宮 腰 恵千子
日本語詞・曲
心の扉 エミリー・ドカワ 原詩
ながにしあかね 作曲
日本語詞・曲
- (14:19)
15. コロ・プリムローズ (10名)
小さな木の実 海野 洋司 作詞 指 揮 川 口 洋一郎
ビゼー 作曲 ビアノ 清 水 洋 子
Ave Maria Josef Rheinberger 作曲
- (14:26)
16. クリスタルミラ (11名)
アイノカタチ feat. HIDE CReeeen 作詞 指 揮 高 橋 登 雄
(GReeeen) 作曲 ビアノ 浦 田 意 美
浅野 由莉 台詞編曲
- 休 憩 —
- (14:48)
17. Andante (14名)
女声合唱曲「はかつたな」から ケヤキ まど・みちお 作詞 ビアノ 山 田 朗 子
ながにしあかね 作曲
女声合唱曲「うたをうたうとき」から きみ 歌えよ 谷川俊太郎 作詞
長 貴高 作曲
- (14:55)
18. 秋田合唱団 (18名)
こころのつばさ Team 大島 未奈と都(ネガ 指 揮 佐 藤 明 正
フタ(舞台)本人童謡で音楽を 作曲 ビアノ 品 山 由 美
交した石巻市立大形小学校の 作詞
復興チーム) 武 義和 作曲
- (15:02)
19. 秋田市民合唱団 (11名)
オペラ「ナブッコ」より T. ソレラー 訳詞 指 揮 川 口 洋一郎
行け、我が戀よ 金色の翼に乗って G. ヴェルディ 作曲 ビアノ 清 水 洋 子
歌劇「カルメン」より 堀内 敏： 訳詞
闘牛士の歌 G. ビゼー 作曲
- (15:09)
20. コーラス・青い鳥 (10名)
翼はいらない 秋本 康 作詞 指 揮 貝 沼 潤 美
若田部 流 作曲 ビアノ 柳 沢 賢 紀
- (15:16)
21. 合唱団テチャーリア (12名)
カンタータ第78番より 古関 吉雄 訳詞 ビアノ 伊 藤 多津子
Wir eilen mit Schwachen 作詞
願いあつく J.S. Bach 作曲
- *** 休 憩 ***
- (15:33)
22. 秋田女声合唱団 (20名)
女声合唱曲「明日へ長く道」 景野 富弘 作詞 指 揮 小野崎 彰 子
3. 悲しみの意味 千原 英章 作曲 ビアノ 西 村 智 子
女声合唱曲 ながにしあかね 作詞
ながにしあかね 作曲
歌が生まれる

- (13:15)
8. ライラックコール (10名)
Vergin, tutto amor F. ドゥランテ 作曲 指 揮 石 川 佳 代
愛に満ちたおとめよ ピアノ 早 川 明 子
Jubilate Deo Peter Angrea 作曲
神を喜びたたえよ
- *** 休 憩 ***
- (13:37)
9. フレンスエコー桜 (16名)
フィンランディア 堀内 敏三 訳詞 指 揮 川 口 洋一郎
ンペリウス 作曲 ビアノ 川 口 友 子
大地讃頌 大木 啓夫 作詞
佐藤 真 作曲
- (13:44)
10. 秋田男声合唱団 (16名)
男声合唱組曲より 吉野 弘 作詞 指 揮 川 口 洋一郎
国が 高田 二郎 作曲 ビアノ 川 口 友 子
須賀 敬一 作曲
- (13:51)
11. コロ・フェリーチェ 少年 (9名)
海野 洋司 作詞 指 揮 阿 部 千津子
モーツァルト 作曲 ビアノ 阿 部 千津子
南 安雄 編曲
私を泣かせて下さい ヘンデル 作曲
阿部 千津子 編曲
- (13:58)
12. コール若草 (9名)
晴雨 海野 洋司 作詞 指 揮 小 野 真 弓
ブルームス 作曲 ビアノ 堀 谷 睦 美
南 安雄 作曲
海の夕日 海野 洋司 作詞
モーツァルト 作曲
南 安雄 作曲
- (14:05)
13. コール虹 (14名)
女声・混声合唱による10のメルヘン やなせたかし 作詞 指 揮 齋 藤 幸 美
海と我と私と 水戸 敦子 作曲 ビアノ 七 海 ゆかり
雪の街
- (14:12)
14. はちすコーラス (10名)
さくらさくら 日本古謡 作詞 指 揮 難 波 智賀子
石松 正司 作曲 ビアノ 奥 山 実 穂子
長森 かおる 編曲
ふるさとのナナカマド 中野信子(ワグネル)作詞
やきりん 訳詞
中野信子(ワグネル)作曲
長森 かおる 編曲
- (15:40)
23. 秋田県和楽合唱団 (20名)
明日へ向かう人 半崎 美子 作詞 指 揮 青 木 誠
半崎 美子 作曲 ビアノ 佐々木 雅 子
今村 康 編曲
- (15:47)
24. 秋田混声合唱団 (13名)
Go forth into the world in peace Jhon Rutter 作曲 指 揮 佐々木 珍
i will sing with the spirit Jhon Rutter 作曲 ビアノ 清 水 洋 子
- (15:54)
25. 混声合唱団カンパネラ・ VIVALDI Gloriaより VIVALDI 作曲 指 揮 浅 野 志 生
コール&青少年音楽の家 第Ⅰ曲・第Ⅱ曲 ビアノ 大 山 美 子 (35名)
- (16:05)
26. 合同合唱 (110名)
混声合唱曲 江村 美紀 作詞 指 揮 三 澤 由美子
ボクはウタ 信長 貴富 作曲 ビアノ 工 藤 啓
混声合唱のためのカンタータ 大木 啓夫 作詞
土の歌 第7楽章 大地讃頌 佐藤 真 作曲
- 参加団体
(秋田音楽研究会混声合唱団 童謡コーラス 秋田女声合唱団 コール・カベラ
秋田混声合唱団 秋田合唱団 混声合唱団カンパネラ・コール コール若草
しおかぜコーラス 秋田県和楽合唱団 コールそよかぜ はちすコーラス
クリスタルミラ 秋田男声合唱団 コール虹 コロ・野乃花 コーラス・青い鳥)
- (16:20)
27. 全員合唱 秋田県民歌 倉田 政嗣 作詞 指 揮 大 山 裕 啓
高野 辰之 作曲 ビアノ 工 藤 啓
成田 為三 作曲

秋田市民合唱祭
藤原正幸 作詞
黒木玲子 作曲

一、花がおる
千秋の園 光満ち
はつらつ歩む 若人の
希望輝く
ふるさとのまぢ
ああさわやかな
わが秋田

二、水きよき
旭の流れ ケヤキ茂り
豊かな自然 集い来て
未来を語ろう
しあわせのまぢ
わが秋田

三、雪いだく
太平の山 仰ぎみて
大地にもえる 若草よ
伸びゆく力
よろこびのまぢ
あはたたくまじき
わが秋田

(昭和五十四年四月制定)

第81回 秋田県華道連盟 総合いけばな展



開催日時 10月28日(日)～11月5日(日)

秋田市にぎわい交流館AU
2階展示ホール

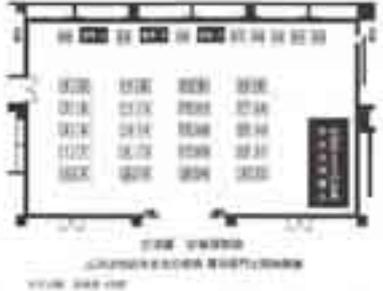
- 開展 / 10月28日(日) 9:00～17:00
- 開展 / 10月29日(月) 9:00～17:00
- 開展 / 10月30日(火) 9:00～17:00
- 開展 / 10月31日(水) 9:00～17:00
- 開展 / 11月1日(木) 9:00～17:00
- 開展 / 11月2日(金) 9:00～17:00
- 開展 / 11月3日(土) 9:00～17:00
- 開展 / 11月4日(日) 9:00～17:00
- 開展 / 11月5日(月) 9:00～17:00

主催 / 一般社団法人秋田県華道連盟 秋田県華道連盟 秋田県民文化の日実行委員会
 協賛 / 秋田県民文化の日実行委員会 秋田県民文化の日実行委員会
 協賛 / 秋田県民文化の日実行委員会 秋田県民文化の日実行委員会
 協賛 / 秋田県民文化の日実行委員会 秋田県民文化の日実行委員会

2024 (第81回) 秋田県華道連盟総合いけばな展

会場別案内 秋田県民文化の日実行委員会

会場1
 10月28日(日) 10月29日(月) 10月30日(火)
会場別案内
 10月28日(日) 10月29日(月) 10月30日(火) 10月31日(水)
 11月1日(木) 11月2日(金) 11月3日(土) 11月4日(日) 11月5日(月)



- ### いけばな展覧会要目
- ◎ 秋田県民文化の日実行委員会 秋田県民文化の日実行委員会
 - ◎ 協賛 秋田県民文化の日実行委員会 秋田県民文化の日実行委員会

会場2
 10月28日(日) 10月29日(月) 10月30日(火)
会場別案内
 10月28日(日) 10月29日(月) 10月30日(火) 10月31日(水)
 11月1日(木) 11月2日(金) 11月3日(土) 11月4日(日) 11月5日(月)

会場3
 10月28日(日) 10月29日(月) 10月30日(火)
会場別案内
 10月28日(日) 10月29日(月) 10月30日(火) 10月31日(水)
 11月1日(木) 11月2日(金) 11月3日(土) 11月4日(日) 11月5日(月)



会場	会場1	会場2	会場3
10月28日(日)	10月29日(月)	10月30日(火)	10月31日(水)
11月1日(木)	11月2日(金)	11月3日(土)	11月4日(日)
11月5日(月)			

合同茶会

日時 令和6年11月3日(日) 午前10時～午後2時
会場 秋田市文化創造館・秋田市にぎわい交流館AU

第67回 秋田市芸術祭

合同茶会 入席券 700円

日時 令和6年11月3日(日) 午前10時～午後2時

会場 秋田市文化創造館 秋田市にぎわい交流館AU

1階 コミュニティスペースN-A	玉川遠州流	3階 多目的ホールA	石州流
1階 コミュニティスペースN-B	表千家	3階 多目的ホールB	狭山流
2階 スタジオA1・A2全面	裏千家	4階 研修室1・2	遠州流
2階 スタジオB	日本礼道 小笠原流		

主催 (一社)秋田市文化団体連盟 後援 秋田市の文化を育てる市民の会
共催 秋田市 秋田朝新聞社・NHK秋田放送局
A B S秋田放送・A K T秋田テレビ
A A B秋田朝日放送・エフエム秋田

玉川遠州流



表千家



裏千家



日本礼道小笠原流



石州流



狭山流



遠州流



第67回 秋田市芸術祭

第十回 秋田市文化の祭典

秋田市文化団体連盟
加賀川畔による文化の祭典

令和6年
11月3日 日曜 **18:00** 開演 **三入八入 [中ホール]**

観覧料

観覧料(全席) 1,500円
1,000円(小学生以下) 500円(小学生以下)

観覧料に追加の決済料あり

観覧料に追加の決済料あり(現金) 1,500円 + 170円
現金、クレジット決済(現金) 1,500円 + 170円
クレジットカード 1,500円 + 170円

観覧料文化団体連盟

秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟) 秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟)

観覧料に追加の決済料あり

秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟) 秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟)

秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟) 秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟)

秋田市文化の祭典

舞台公演 入場無料 観覧料 1,500円 + 170円

11月3日 日曜
開演 13:00 (開演は12:30)

三入八入 [中ホール]

観覧料

観覧料(全席) 1,500円
1,000円(小学生以下) 500円(小学生以下)

観覧料に追加の決済料あり

観覧料に追加の決済料あり(現金) 1,500円 + 170円
現金、クレジット決済(現金) 1,500円 + 170円
クレジットカード 1,500円 + 170円

演目

1. 秋の草
2. 華曲 生田流華曲協会
3. 美里羅蘭 遼々舞歌会

出演者

秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟) 秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟)

秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟) 秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟)

秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟) 秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟)

プログラム [舞台公演]

1. **ご挨拶** 秋田市文化団体連盟 会長 宮下正弘 13:00

2. **ご挨拶** 秋田市長 穂積 志 様

1. **華曲 生田流華曲協会** 13:00

「秋の草」 作詞 宮下 正弘 作曲 山本 正徳

出演

秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟) 秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟)

秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟) 秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟)

秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟) 秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟)

観覧料

観覧料(全席) 1,500円
1,000円(小学生以下) 500円(小学生以下)

観覧料に追加の決済料あり

観覧料に追加の決済料あり(現金) 1,500円 + 170円
現金、クレジット決済(現金) 1,500円 + 170円
クレジットカード 1,500円 + 170円

13:30

2. **華曲 生田流華曲協会** 13:30

「花は咲く」

秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟) 秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟)

秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟) 秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟)

秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟) 秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟)

出演

秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟) 秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟)

秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟) 秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟)

秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟) 秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟)

観覧料

観覧料(全席) 1,500円
1,000円(小学生以下) 500円(小学生以下)

観覧料に追加の決済料あり

観覧料に追加の決済料あり(現金) 1,500円 + 170円
現金、クレジット決済(現金) 1,500円 + 170円
クレジットカード 1,500円 + 170円

13:54

3. **美里羅蘭 遼々舞歌会** 13:54

「花と雷鳥」 作詞 宮下 正弘 作曲 山本 正徳

秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟) 秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟)

秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟) 秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟)

秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟) 秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟)

出演

秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟) 秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟)

秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟) 秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟)

秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟) 秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟)

観覧料

観覧料(全席) 1,500円
1,000円(小学生以下) 500円(小学生以下)

観覧料に追加の決済料あり

観覧料に追加の決済料あり(現金) 1,500円 + 170円
現金、クレジット決済(現金) 1,500円 + 170円
クレジットカード 1,500円 + 170円

14:00

「笛吹童子 幻想曲」 作詞 宮下 正弘 作曲 山本 正徳

秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟) 秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟)

秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟) 秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟)

秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟) 秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟)

出演

秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟) 秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟)

秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟) 秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟)

秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟) 秋田市文化団体連盟(秋田市文化団体連盟)

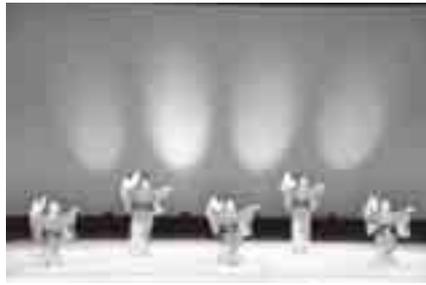
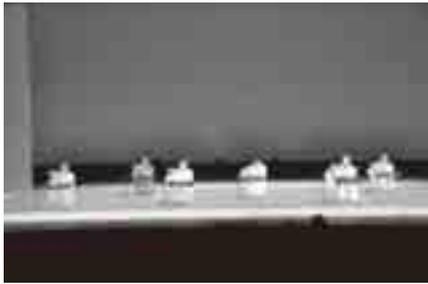
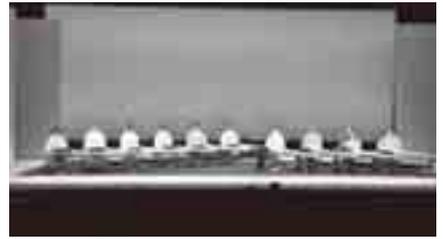
観覧料

観覧料(全席) 1,500円
1,000円(小学生以下) 500円(小学生以下)

観覧料に追加の決済料あり

観覧料に追加の決済料あり(現金) 1,500円 + 170円
現金、クレジット決済(現金) 1,500円 + 170円
クレジットカード 1,500円 + 170円

～秋田市文化の祭典より～



団体紹介（令和6年度加入団体）

団体名 琴古流尺八竹龍館

代表者 代表 三浦 龍畝



部門 邦舞邦楽部門 尺八
創立 平成5年5月
加入 令和6年4月
連絡先 〒010-0004 秋田市東通観音前10-11
TEL 080-5224-3282

活動紹介

高校入学後、秋田市にて琴古流尺八竹道会大瀬昇雲師に師事。浜松市の日本楽器（現ヤマハ）に勤務し、清水市の琴古流らんぼ社宗家横山蘭畝師に出会い、師事。その後、東京にて世界的尺八奏者横山勝也師に師事。昭和50年に尺八教室を秋田市にて、昭和57年から東京にて尺八教室並びに龍畝銘尺八工房を開設。平成5年より能代市にて尺八教室並びに龍畝銘尺八工房を併設し、多くの外国人尺八家を受け入れる。平成21年～平成30年まで弘前大学教育学部音楽科非常勤講師に就任。

- 【受章】・第52回秋田県芸術文化章受章（令和2年度）
・第25回能代市芸術文化章受章（令和6年度）
・第50回秋田県芸術選奨受賞（令和6年度）

団体名 ハラウ フラ オ レファ ケアロハ

代表者 代表 田中 麻季絵（レファ ケアロハ 麻季絵）



部門 大衆芸能部門 ポリネシアン民俗舞踊
創立 平成2年7月
加入 令和6年4月
連絡先 事務局 鈴木桂子
〒011-0941 秋田市土崎港北7丁目3-18
TEL 080-1665-6579

活動紹介

ハワイ島のクムフラ・ジョニー・ラムホー、オアフ島ホクラニ・デ・レゴに教えを乞い正式にウニキを経てジャパルクムを取得。鎌倉にてハラウを創設。キングカメハメハ、フラオニエ等、大会で上位入賞を果たす。秋田教室からは2002年アングル・ジョージ・ナオベ・インビテーションショナルフラフェスティバル仙台ワヒネ優勝2004年JAL主催 第5回フラホウラウナアロハコンペティションワヒネアウアナ出場。2010年ハワイ島ヒロにてメリーモナーク前夜祭に参加2013年オアフ島ポリネシアンカルチャーセンター50周年記念ステージに出演2015年フラオニエ東京大会クプナソロ第2位同年関西大会ワヒネ第2位2016年フラオニエ関西大会クプナソロ優勝秋田教室を開設して今年35年となる。現在、秋田・横浜で教室を開催し踊りだけではなくハワイの歴史、文化等を幅広く伝え、後進の育成にも取り組んでいる。

第62回 秋田市文化団体連盟章

日時 令和6年12月3日(火)午後4時
会場 秋田キャッスルホテル



川柳

すが わら こう よう
菅原浩洋 (81歳)

(菅原 浩)

あきた し せんりゅうきょうかい
秋田市川柳協会

【川柳ウイング吟社での活動】

平成23年川柳ウイング吟社入会。現在主幹として吟社の運営に尽力している。特に主幹就任後は、会員減少に悩む同吟社を様々なアイデアを駆使して、県内有数の会員を擁する吟社に育て上げた。現在、月刊川柳誌「ウイング」を220号発行。

【組織活動】

平成29年秋田市川柳協会事務局長に就任し、会長を補佐して任務に当たっていたが、令和2年以降は同会長として市内5吟社を掌握指導しつつ、秋田市民文芸大会へ中心的に関与する傍ら、秋田市川柳大会や県川柳大会等の選者を務めている。平成31年からは、県川柳懇話会事務局長として会長を補佐し、本県川柳界の活動を切り盛りしている。また、同年には全日本川柳2020年秋田大会事務局長に就任。折からのウイルス禍により同大会開催が危ぶまれたが、会長の右腕となり、全日本川柳協会と協議の上、全国大会としての初の誌上大会開催にこぎ着けた。その手腕は高く評価されている。

この他、令和元年から2年間東北川柳連盟事務局長に就任。東北各県川柳連盟との連絡調整に尽力した。これらにより現在まで「秋田の浩洋」の名声を高めている。

【その他の活動】

秋田市川柳協会事務局長就任後は、高校教諭(英語)のキャリアを有効活用し、「国際俳句・川柳・短歌ネットワーク」において、川柳作品を英語バージョンにするなど、川柳を秋田市から世界に発信している。また、国内唯一の川柳専門雑誌「川柳マガジン」の選者を担当し、全国川柳愛好者の指導育成と啓蒙に務めている。

以上のように川柳の発展・普及、後進の指導・育成に尽力し、芸術文化活動の推進と秋田市文化団体連盟の発展に貢献している。

- ※平成30年～ 秋田魁新報社柳壇作家賞3回受賞
- ※令和元年 県民公募あきたの文芸最優秀賞(知事賞)。他、同奨励賞3回
- ※令和3年 秋田市川柳大会第一位。他に各種川柳大会で上位入賞多数



書道

おお つか しょう か
大塚祥華 (80歳)

(大塚 滋子)

こう かしん
孝華書院

昭和62年12月孝華書院に入門、故茂林孝華先生・茂林憲子先生に師事し、以来書道の技術向上に励んできた。平成2年に雅号・及び師範資格を取得し孝華書院理事・茂遠書会常任理事として孝華書院展・茂遠書会展の円滑な開催の為に積極的に協力し、孝華書院の発展に貢献してきた。

作品発表に関しては、昭和63年から孝華書院展への毎回出品を始めとして平成2年東京・学書院展出品、平成4年からは茂遠書会展・秋田市芸術祭総合美術展への積極的な出品、秋田県造形美術展出品・平成25年から平成29年孝華書院「心照展」及び令和2年からの「秋田の書展」、など書道発展に寄与してきた。

また、平成23年から13年間秋田市立旭南小学校主催の「地域ふれあいクラブ」の書道講師として書道の楽しさを通じて技術向上・後進の育成と書道文化の普及を図るため長年尽力しており、秋田市文化団体連盟のさらなる芸術振興に貢献寄与しているものと考えている。

以上のように書道の発展・普及、後進の指導・育成に尽力し、芸術文化活動の推進と秋田市文化団体連盟の発展に貢献している。

- ※平成2年8月 学書院展 特選
- ※平成3年8月 " 秀作
- ※平成4年8月 " 推薦
- ※平成5年8月 学書院創立35周年選抜コンクール 銅賞
- ※平成5年8月 学書院展 中国大使館賞
- ※平成5年10月 第一回「国泰民安」コンクール半紙 入選
- ※ " " 半切 入選
- ※平成6年8月 学書院展 NTT賞
- ※平成7年8月 " 資生堂賞
- ※平成8年8月 " 日本テレビ社賞
- ※平成9年8月 " 読売新聞社賞
- ※平成10年8月 " "
- ※平成11年8月 " "
- ※平成12年8月 " "



茶道

はし の そう も
橋野宗茂 (80歳)

(橋野 茂子)

さどうせきしゅうりゅうそうけ あきた し ぶ
茶道石州流宗家秋田支部

昭和47年12月2日 入門 茶道石州流 筑和宗香に師事

昭和58年10月 茶道石州流 伊藤宗初に師事

平成18年4月から支部役員として務める。

平成18年4月から保戸野コミセンで抹茶グループを開始し現在にいたる。

平成21年4月から秋田支部会計を令和3年3月まで12年間務める。

令和3年4月、秋田支部支部長現在にいたる。

令和4年1月8日、茶道石州流宗家全国支部長・会長会副会長

千秋茶会、秋田市芸術祭合同茶会、支部茶会には積極的に参加(掛釜)

宗家主催の講習会、初釜、春、秋の茶会等にも積極的に参加し勉強しています。

その他、地域においても高齢者施設で平成25年から30年まで年2回呈茶。また、泉地区友遊クラブにて掛釜をする。その他、平成27年～

現在も白百合いずみこども園で年5回茶道を指導している。

自発的に行動をする事で皆様から信頼されております。

以上のように茶道の発展・普及、後進の指導・育成に尽力し、芸術文化活動の推進と秋田市文化団体連盟の発展に貢献している。

- ※平成25年5月 秋田市民生委員児童委員協議会会長表彰
- ※平成25年10月 秋田市社会福祉協議会会長表彰
- ※平成28年7月 秋田市長 穂積志 社会福祉功勞表彰(市記念日)
- ※平成29年7月 全国民生委員児童委員協議会会長表彰
- ※令和元年10月 秋田県知事 佐竹敬久 社会福祉功勞表彰
- ※令和4年11月 厚生労働大臣 加藤勝信 社会福祉功勞
- ※令和4年11月 秋田県民生児童委員協議会
- ※令和4年12月 秋田市長 穂積志 社会福祉功勞
- ※令和5年5月 厚生労働大臣 加藤勝信 社会福祉功勞表彰



華道

か とう ほう てん
加藤豊典 (77歳)

(加藤 典子)

おほらりゅうあきた し ぶ
小原流秋田支部

昭和43年小原流に入門し戸嶋豊康師に師事。

昭和50年より教授活動に入り、後進の指導、育成、いけばなの普及、伝承に努める。昭和62年小原流秋田支部幹部、平成16年副支部長、平成26年名誉幹部として現在に至る。

広面、外旭川地区の伝統文化子供教室で指導し現在に至る。

平成6年秋田県華道連盟幹事、後に会計、平成26年監事として現在に至る。

平成19年「秋田県いけばな史」の発刊に携わる。

平成26年「第29回国民文化祭・あきた2014」で、県内18流派の華道展、野外展、記念作品集発刊、いけばなパフォーマンス「椿伝説」公演等を企画実行した。

小原流秋田支部の花展、秋田県華道連盟総合いけばな展、秋田県いけばな作家協会華展に作品を出品。

以上のように華道の発展・普及、後進の指導・育成に尽力し、芸術文化活動の推進と、秋田市文化団体連盟の発展に貢献している。

- ※平成28年 小原流秋田支部創立60周年記念賞
- ※平成30年 秋田県華道連盟創立70周年記念功勞賞
- ※平成30年 秋田県華道連盟創立70周年記念永年表彰



歌謡曲

つか 塚 あきら (75歳)
 (程 塚 敏 明)
 つか か ようきょうしつ
 塚歌謡教室

1997 ビクター歌謡音楽研究会講師認定 作曲家三木たかし先生に師事
 2008 NPO法人日本大衆音楽協会歌謡講師・歌唱健康士医学博士永田晃先生に教授。
 2010 歌手協会合格 (一社)日本歌手協会プロレベル認定
 2014 協会理事昇格 大衆音楽祭全国大会舞台監督拜命
 総会議長就任 コロナ禍秋田から全国オンライン開催提唱実施

【教室と協会共存】

- ・1998 八王子教室開校 2000年～秋田市で開校現在に至る
- ・2003 秋田県大衆音楽協会立上 周知目的で2005年13市巡業大会掲げる
- ・2019 13巡業大会達成。各市に教室開校大衆音楽の普及
- ・2020 全県教室縮小 コロナ禍で大館・由利本荘・秋田市に限定

【他分野と共存】

- ・2009～ 秋田市文化団体連盟・秋田県芸術文化協会に加盟、他分野との交流を継続。

【健康寿命促進運動】

- ・2008～NPO法人日本大衆音楽協会の歌唱健康指導士習得、個人で県内講演他ボランティア活動
 - ・2011～2024まで14年間、自宅スタジオで定例の歌唱健康研修会継続
 - ・2022 秋田県健康づくり県民推進委員会に音楽分野第1号で推薦受諾
 - ・2023～ 3月～2度目の13市巡業「楽しく歌って健康に！」講演と実演開始
 - ・2024 健康づくり地域マスター拜命 9月13市巡業達成
- 以上のように大衆音楽の発展・普及、後進の指導・育成に尽力し、芸術文化活動の推進と、秋田市文化団体連盟の発展に貢献している。

※全国鮎山救急法大会 個人団体優勝 1976・1985年
 ※文部大臣賞 1976年 秋田大学通信教育課程
 ※内閣総理大臣賞 2005年 第21回NPO法人日本大衆音楽祭
 ※けやき賞受賞 (秋田市の文化を育てる市民の会) 2008年
 ※NPO法人日本大衆音楽協会、会長賞 2024.10.26



謡曲

ま 間 みや 宮 しげ 繁 お 夫 (73歳)
 あき た し ようきょうきくさんりゅうどうこうかい
 秋田市謡曲三流同好会

平成12年サンライフ秋田の謡曲教室(能・喜多流)へ入会。
 平成13年～喜多流正教授渡邊豊治師に師事。喜多流入門を宗家より允許。

平成15年山形の国民文化祭に出演。平成16年唐松能楽殿公演に出演。以後本公演には計5回出演し能楽の普及に努めている。

平成26年喜多流職分粟谷能夫師に師事。喜多流宗家より「謡教授」「舞教授」を允許。平成29年秋田市文化会館にて「教授」の「抜き」を行い謡・仕舞を披露した。平成13年より小鼓幸流横山幸彦師に師事し、囃子方としても各発表会へ参加している。秋田市文化団体連盟主催の秋田市芸術祭「邦楽合同公演」には毎年出演している。他に、毎年、年数回の発表会に出演し、謡・舞・囃子を披露し各流派との交流を図っている。令和4年からサンライフ秋田の教室を発展させた秋田県喜多流梅陽会会長として謡曲・仕舞の指導にあたり能楽の普及及び各流との連携・交流に尽力している。令和6年秋田市芸術祭「夏休みトライ」において謡曲の講師として小学生の指導にあたった。

以上のように謡曲の発展・普及、後進の指導・育成に尽力し、芸術文化活動の推進と、秋田市文化団体連盟の発展に貢献している。



箏曲

すが わら が 菅 原 ひろ賀 (71歳)
 (菅 原 ひろみ)
 いく た りゅうそうきよくせいひんかい
 生田流箏曲清絃会

1963年 箏曲指導者 山崎牙賀師に入門
 1966年 佐林恵美子師に師事
 1974年 田村寿賀師に師事
 1980年 生田流箏曲清絃会の箏師範授名
 2000年 生田流箏曲清絃会の三絃師範授名
 2002年 生田流箏曲清絃会の大師範免許
 2002年 以降後進の指導にあたっている

- ・秋田市芸術祭、「秋田市文化の祭典」等に数多く参加。
- ・秋田県三曲連盟主催の定期演奏会及び初春のしらべに毎年参加。
- ・秋田県三曲連盟会員として石川県国民文化祭「いしかわ百万石」や大分県国文祭等に積極的に参加。
- ・秋田県での国民文化祭では、各種の行事等に参加。
- ・能代市文化フェスティバルに数多く参加。
- ・秋田市伝統文化親子教室や能代南中学校地域交流会等に積極的に参加して子供達への邦楽の普及を図っている。
- ・お箏を通して、地域へのボランティア活動等を自主的に行っている。

以上のように箏曲の発展・普及、後進の指導・育成に尽力し、芸術文化活動の推進と、秋田市文化団体連盟の発展に貢献している。

※2005年11月 清絃会功労賞を受賞



茶道

ふる かわ ほう こう 古 川 芳 孝 (66歳)
 (古 川 孝 子)
 せんちやうどうさ やまりゅう
 煎茶道狭山流

昭和57年4月 家元に直接師事
 昭和59年5月 全日本煎茶道連盟 会員に任命。
 昭和61年4月 煎茶道狭山流教授の資格を授与される。
 平成5年4月 全日本煎茶道連盟の参事に任命される。
 平成12年1月 煎茶道狭山流の常任理事に任命される。
 平成17年1月 社中持ち教授となる。

昭和57年に狭山流に入門以来、日々の稽古の取組みは基より、京都で開催の全日本煎茶道大会、秋田で開催の千秋茶会、秋田市芸術祭「合同茶会」、秋田県各地で開催の茶会運営等に於いて、家元の活動を補佐し、煎茶道の発展に身を呈して貢献している模範的な重鎮である。

会員の信頼も厚く、煎茶道を通じ、今後も秋田市の芸術文化の発展に寄与出来る人材である。

以上のように茶道の発展・普及、後進の指導・育成に尽力し、芸術文化活動の推進と、秋田市文化団体連盟の発展に貢献している。



連盟章設立までの経緯と趣旨

一般社団法人秋田市文化団体連盟は秋田市における芸術文化の自主的活動強化を図りながら、その普及振興と市民文化の高揚に努め、秋田市の文化の向上と発展に寄与することを目的に昭和32年に結成されました。以来、秋田市芸術祭をはじめとして各種の文化事業をとおして市民の芸術文化の普及振興に力を注いでまいりました。このような芸術文化活動の推進と文化団体連盟の発展に貢献された個人および団体の功績を讃えとともに、秋田市の芸術文化活動の促進に寄与することを目的として、昭和38年に「秋田市文化団体連盟章」を設け表彰しているものであります。

一般社団法人 秋田市文化団体連盟
会長 宮下 正弘

第56回 秋田県芸術文化章 (連盟関係者)

日時 令和6年12月11日(水) 午後1時30分
会場 ANAクラウンプラザホテル秋田



短歌
高島 清子 (85歳)
住所 秋田市

履歴・業績

およそ50年にわたり実作活動が続け数々の秀作を発表し多くの大会で入賞を果たしてきた。第一歌集「薔薇は静かに」は歌壇において高く評価され令和元年に日本歌人クラブ東北地域ブロック優良歌集賞を受賞、同年秋田県芸術選奨も受けている。秋田市歌人協会会長、また短歌結社「白路」の秋田県支部長として後進の育成に努め秋田県の短詩型文学普及と発展に貢献している。秋田県歌人懇話会会長を経て現在は顧問。令和3年秋田県歌壇功労賞



華道
京屋 幸暲 (79歳)
(京屋 幸子)
住所 秋田市

履歴・業績

昭和40年花芸安達流に入門、平成16年から秋田県支部長に就任し流派の発展と後進の指導育成に努めている。秋田県華道連盟においては平成29年から事務局長、令和3年から副会長として事業運営にあたっている。平成19年全国に先駆けて発刊した「秋田県いけばな史」の編集委員。第29回国民文化祭・あきた2014「華道フェスティバル」では実行委員として「椿伝説」公演など各種事業を遂行し、いけばなの魅力を全国に発信した。平成30年秋田県華道連盟創立70周年記念永年表彰 令和4年秋田市文化団体連盟章



謡曲
高田 登 (72歳)
住所 秋田市

履歴・業績

秋田県謡曲連盟会長、秋田市謡曲三流同好会副会長、「東北地区合同仕舞・囃子の集い」秋田県委員を務める。秋田市芸術祭「邦楽合同公演」や県内の各種文化イベントに積極的に参加するなど、流派を超えて本県謡曲の振興発展に貢献している。第29回国民文化祭あきた2014「能狂言の祭典」では企画委員長として企画運営を主導、全国からの参加者と交流の機会を設け本県能楽愛好者の意識高揚を図った。現在も愛好者を対象にした勉強会を主宰して能楽囃子の普及、研鑽を目指し技能の向上に尽力している。平成29年秋田市文化団体連盟章

令和6年 秋田県文化功労者 (連盟関係者)

日時 令和6年10月31日(木) 午後2時30分
会場 秋田県庁「正庁」



箏曲の指導・邦楽の発展

村田 敏子
(89歳)

住所 秋田市

箏曲宮城会会員として全国主要都市で開催される全国大会に多く出演。平成12年度から22年度まで、中学校・高等学校・特別支援学校の音楽科教師を対象とした研修で箏の講師を11年間務めるなどした。

国民文化祭への出演は10回を超え、出演メンバーの中心として活躍。秋田県の邦楽界の地位向上と芸術文化活動の発展に大いに貢献してきたほか、後進の指導に尽力し、国内外で活躍する門下生を多数輩出している。



地域経済の振興

三浦 廣巳
(73歳)

住所 秋田市

平成2年、秋田日産自動車株式会社代表取締役社長に就任。秋田県自動車販売協会会長としても業界の陣頭指揮をとり、自動車業界の発展と振興に努めた。

平成25年、秋田商工会議所会頭に就任。以後9年間、地域総合経済団体の長として、地域課題を深く認識し、将来を見据えた対策に着手するなど、商工会議所の社会的信用と地位向上に取り組む。

平成26年には秋田県総合政策審議会会長に就任。県政の指針となる、「～大変革の時代～新秋田元気創造プラン」の策定に力を発揮するなど、県政発展に大きく寄与した。

その他、ワールドゲームズの招致・運営に尽力したほか、平成18年4月から秋田県ラグビーフットボール協会会長に就任し、秋田県のラグビー競技発展にも尽力している。

あ と が き

◎穂積市長にお忙しいなか、お祝のご挨拶をいただきありがとうございます。

ミルハス、明德館、文化創造館、そして令和7年度開館予定の佐竹史料館等々・・・。

美しい千秋公園の内と外に一連の文化施設が立ち並びます。これらの文化的、知的活動の拠点、そして千秋公園の風格ある庭園美。これらこそ、秋田市民が全国に、そして世界に誇るべき貴重な財産です。

経済的豊かさだけでなく、心の豊かさがある、はじめて私たちはこの財産を引き継ぎ守り育てていくことができます。

文化活動に携わる私たちも、一般市民も行政にたずさわる人々も共に手を取りあってめざすべき目標実現のために協力し合っていきたいものです。

◎「芸術文化体験プログラム」は、今後も継続して子どもたちに芸術文化を体験してもらい、少しでも文化の担い手が育ってくれるように実施します。

◎11月19日（火）ねぶり流し館を会場に「文化芸術の振興を考える議員の会」との懇談会がもたれました。「夏休みトライ」記録映像視聴、宮下会長の基調講演に続き、活発な議論が展開され、別な視点、角度から文化団体連盟をみることができました。今後もこのような会を継続することによって、さらに新しい視点から文化芸術を考えることができるものと思います。

—ひとり言—

世界中が、今、自然も社会も不安で危険な局面を迎えつつあります。そんな時こそ私たちは差別、憎悪、分断ではない調和、平和、寛容の精神を大切にしたいと思います。

いよいよ、芸術文化の出番です。

なんの変哲もなく けなげに咲く

一輪の花。

強い生命力と美しさを感じます。

*編集責任者

常務理事 鎌 田 久美子

*編集委員

事務局

